

攻勢自民 思惑交錯

自民党は参院選神奈川選挙区の改選定数4のうち、与党で3議席の獲得を狙って積極的な戦略を描く。公認、推薦の各候補の支援に熟を帯びる活動の行方も混沌としてきた。

5月26日、東京・霞が関の財務省。麻生太郎財務相が、自民党の推薦を得た無所属の中西健治氏(52)を大臣室に招き入れた。中西氏の選対本部長を務める浅尾慶一郎元みんなの党代表(衆院4区)も一緒だった。

県内首長の要望活動に同行した2人だったが、話題は自然に、改選を迎える中

西氏の選挙戦にも及んだ。

「90万票ぐらい取つたらう。それぐらい掘り起こせよ」。麻生氏は、2009年に中西氏が挑んだ横浜市長選での得票数を引き合いに潜在票の獲得を促した。

麻生氏は2月に中西氏の支援を表明して以来、公務の合間を縫って4度も県内



麻生太郎財務相(左)と談笑する中西健治氏(右)と浅尾慶一郎氏(5月26日、財務省大臣室)

入りしてきた。推薦候補には破格の支援といえる。麻生派は県内に河野太郎行政改革担当相(同15区)ら5人の所属議員を抱える。

5月29日の横浜市内での集会では、今期での引退を表明した小泉昭男参院議員が中西氏を「後継指名」。

麻生派との合流話が浮上している山東派の会長でもある山東昭子元参院副議長も支援に加わった。前知事の松沢成文参院議員も、元みんなの党の同僚でもあった中西氏の支援を近く表明する見通しだ。

徐々に応援団を膨らませる中西陣営に、公認候補の三原じゅん子氏(51)を支援する党県連幹部は、警戒感を隠さない。「麻生派に票を削られそうな選挙区では、地元議員を引き締める」

2面に続く



迫る公示なお不協和音



1面から続く

「公認、推薦の候補全員
の当選」「自民候補の完全
勝利を」。

横浜市中区で13日夜、自
民党横浜市連が開いた決起
大会。松本純党筆頭副幹事
長(衆院1区)と鈴木馨祐
元国土交通政務官(7区)
は、壇上でのアピールに似
たフレーズを使った。
両氏とともに麻生派の所
属。領袖の麻生財務相が

中西健治氏の支援に注力し
ている。一方、当初から複
数擁立に慎重だった党県連
は公認の三原じゅん子氏の
支援に専心する姿勢を今も
変えていない。

自民党は無所属の中西氏



三原じゅん子氏(右)の必
勝を目指して氣勢を上げる
自民党議員ら

13日夜、横浜市中区

に加え、公明党新人の三浦
信祐氏(41)への推薦も決め
た。だが県連会長の小此木
八郎党国対委員長代理(3
区)は、7日の大会でも「唯
一の公認候補を、脇目も振
らずやるのみ」と重ねて訴
えた。

公示が間近に迫った今も
わだかまりを党内に残す自
民党だが、党幹部の一人は
公認、推薦3候補の「完勝」
に自信をみせる。神奈川選
挙区では民進党も2人の公
認候補を擁立する実情もあ
りそうだ。「他党のことは
知らないが、(与党での)
3人当選は不可能ではな
い。見ていてほしい。結果
を出す」

選挙区の地元で足場を固
める上で力を発揮する自民
党所属の地方議員にも、候

補者支援を巡る波紋が広が
っている。

地方議員の一人は「今後
自分の選挙に応援に来ても
らうなら華のある三原氏」
と言いつつ、「参院選で
恩を売っておこうと打算も
働くだろう。複数擁立とな
れば、誰しも勝ち馬に乗り
たいものだ」。一方で「政

策、議員活動で評価する」
と、中西氏の支援を明確に
する議員もいる。

ある議員は当惑をのぞか
せた。「党是を考えれば、
憲法改正へ議席を一つでも
増やそうとするのは当然だ
と思うが…」

(参院選取材班)